

「周南まちづくりコンテスト 2011」実施報告書

平成 23 年 11 月 11 日
徳山大学地域連携センター

1. 実施目的

平成 23 年は山口県において第 66 回国民体育大会「おいでませ！山口国体」および第 11 回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」が開催され、これを機に山口県のスポーツ振興、さらには経済・文化の発展が期待されている。また、徳山大学は従来から体育系クラブ活動に力を入れ、経済学部ビジネス戦略学科にスポーツマネジメントコースを設置するなど、スポーツをテーマとした教育・研究活動を推進している。

これらを踏まえ、地方スポーツの振興に向けた「知」を全国から結集し、周南市等におけるスポーツ振興策の充実に資することを目的に、「スポーツを楽しむ環境づくり」をテーマとするアイデアを募集・表彰するコンテストを実施した。

2. 実施体制

主催：徳山大学

共催：徳山工業高等専門学校，周南市

後援：山口県教育委員会，朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞西部本社，中国新聞防長本社，山口新聞社，新周南新聞社

3. 実施方法

1) 概要

スポーツを楽しむ環境づくりに関するプランを全国から公募し、優れた作品を選考・表彰する。

2) 募集内容（テーマ）

スポーツを楽しむ環境をつくるプラン

- ① スポーツが地域に定着するための仕掛け
- ② 総合型地域スポーツクラブ等の育成・支援
- ③ 魅力あるスポーツイベントの開催
- ④ スポーツを支える活動の推進（ボランティアなど）

3) 募集部門

- ① 高校部門 … 全国の高校生および高専生（1～3年生）が対象
- ② 大学・高専部門 … 全国の大学生および高専生（高専専攻科生を含む）が対象
- ③ 一般部門 … ①および②を除くすべての人が対象

※いずれの部門も、個人またはグループでの応募が可能。

4) 応募方法

応募者氏名（またはグループ名）、住所、電話番号、メールアドレス（以上、グループの場合は代表者）、タイトルを記入の上、募集テーマに関する提言内容（アイデア）を 800 字程度で記

述する（図表，写真，イラスト，パース等を添付してもよい）。提出は郵送のみによる。

5) 募集期間

平成23年5月16日（月）～8月31日（水）（期間内に必着）

6) 広報手段

- ・チラシ配布（山口県内の自治体，経済団体，市民活動団体，高等学校，中国・四国・九州地方の大学・短大・高専）
- ・記者資料配布（周南市記者クラブ）
- ・月刊『公募ガイド』（6月9日発売号（5/9申込〆切））への情報掲載
- ・地域活性化メーリングリスト他への情報配信
- ・周南市，徳山高専，徳山大学の各ウェブサイトへの掲載

4. 実施結果

1) 応募状況

応募件数は合計199件で，部門別内訳は以下のとおりであった。

- 【高校生部門】 154件（うち徳山高専2名）
- 【大学・高専部門】 31件（うち徳山大学24名，徳山高専2名）
- 【一般部門】 14件

2) 一次審査

- ① 審査目的：各部門で10点以下に絞る。
- ② 審査員：松田敬子（周南市健康増進課長）
弘中基之（周南市文化スポーツ課長）
熊野 稔（徳山工業高等専門学校教授）
目山直樹（徳山工業高等専門学校准教授）
渡 正（徳山大学経済学部准教授）
和田 崇（徳山大学経済学部准教授）
- ③ 審査方法：各作品を10点満点で総合評価。合計60点で競い，上位10点を選定。
- ④ 審査期間：9月6日（火）～16日（金）
- ⑤ 審査結果：高校生部門11点，大学・高専部門11点，一般部門10点を選定。

3) 最終審査

- ① 審査目的：各部門で最優秀賞1点，優秀賞1点を選考。
- ② 審査員：原田裕花（アトランタ五輪バスケットボール代表選手・周南ふるさと大志），
松田敬子（周南市健康増進課長）
弘中基之（周南市文化スポーツ課長）
熊野 稔（徳山工業高等専門学校教授）
目山直樹（徳山工業高等専門学校准教授）
渡 正（徳山大学経済学部准教授）
和田 崇（徳山大学経済学部准教授）
- ③ 審査方法：各作品を「現状認識」「着眼点」「企画力」「実現可能性」「期待効果」の5基準

(各 4 点満点) で評価。

「現状認識」…… 地域スポーツの現状と課題を正しく理解 (認識) しているか

「着眼点」…… 発想や構想, 着眼点がユニークであるか

「企画力」…… 構想にとどまらず, 具体的な企画として立案されているか

「実現可能性」… 企画の実現可能性は高いか

「期待効果」…… 企画が実施された場合の地域への波及効果は高いか

④ 審査期間 : 9 月 27 日 (火) ~ 10 月 7 日 (金)

⑤ 審査結果 : 高校生部門 3 点 (最優秀賞 1・優秀賞 2), 大学・高専部門 2 点 (最優秀賞 1・優秀賞 1), 一般部門 1 点 (最優秀賞 1) を選定。

4) 受賞作品

① 高校生部門

【最優秀賞】 島添 紗希さん (徳山工業高等専門学校)

[テーマ] ウォーキングとジョギングによるまちづくり

[内 容] まちのあらゆる場所にウォーキングルートを整備し, 多くの市民がウォーキングクラブ等に参加するなどしてウォーキングを楽しめるようにする。

【優秀賞】 増岡 和穂さん・柿本 福実さん・道下 洋子さん (大島商船高等専門学校)

[テーマ] 町内鬼ごっこによる町の再発見を

[内 容] 町なかを会場に 3 人 1 チームで参加できる鬼ごっこ大会を開催する。これにより運動不足の解消と町の魅力の再発見につなげる。

【優秀賞】 岡田 明里紗さん (防府商業高等学校)

[テーマ] からだも心も美しく健康に

[内 容] 身長・体重・血圧・体脂肪率などの測定の後, ストレッチや骨盤体操などの軽い運動を実施。さらに健康により周南産農産物を使った食事を提供。

② 大学・高専部門

【最優秀賞】 下瀬 弘幸さん (大島商船高等専門学校)

[テーマ] 七色競技運搬車の運用プラン

[内 容] 普段は体験できないスポーツの用具を搭載した車で学校やスポーツ施設, 老人福祉施設などを巡回し, 多くの人に多様なスポーツを楽しんでもらう。

【優秀賞】 国澤 元樹さん (徳山工業高等専門学校)

[テーマ] 市民, 企業, 行政の連携によるスポーツ環境の創造

[内 容] 市民と企業, 行政がそれぞれの役割を果たしながら, また相互に連携しあって, スポーツを楽しむ環境づくりを推進する。

③ 一般部門

【最優秀賞】 今村 優さん (福岡県北九州市)

[テーマ] 居住者スポーツサークルのすすめ

[内 容] 集合住宅において居住者が主体となったスポーツサークルを立ち上げ, スポ

ーツに参加するきっかけづくりやスポーツを皆で楽しめる環境づくりを行う。

【優秀賞】 該当なし

5) 表彰式

① 開催目的 受賞者を表彰するとともに、提案プランをもとにスポーツを楽しむための環境づくりについて検討・発信する。

② 開催日時 平成 23 年 11 月 5 日 (土) 13:30～15:45

③ 開催場所 徳山大学 6 号館 611 教室

④ 参加者数 53 名

⑤ 内容 (次第)

13:30 開 会

13:31 開会挨拶 岡野啓介 (徳山大学学長)

13:35 表 彰

授与者：岡野啓介 (徳山大学学長)

13:45 プレゼンテーション (応募案の説明)

島添紗希さん (徳山工業高等専門学校)

増岡和穂さん・柿本福実さん・道下洋子さん (大島商船高等専門学校)

岡田明里紗さん (防府商業高等学校)

下瀬弘幸さん (大島商船高等専門学校)

国澤元樹さん (徳山工業高等専門学校)

今村 優さん (一般・北九州市在住)

14:20 休 憩

14:30 審査講評 (パネルディスカッション形式)

原田 裕花 (アトランタ五輪バスケットボール代表選手、周南ふるさと大志)

熊野 稔 (徳山工業高等専門学校土木建築工学科教授)

目山 直樹 (徳山工業高等専門学校土木建築工学科准教授)

渡 正 (徳山大学経済学部准教授)

和田 崇 (徳山大学地域連携センター長)

15:15 周南市の施策について

松田 敬子 (周南市健康増進課長)

弘中 基之 (周南市文化スポーツ課長)

15:45 閉 会

⑥ パネルディスカッションの討議内容 (要約)

審査講評、受賞者へのアドバイス、周南市におけるスポーツ振興方針の 3 段階に分けて意見を交換した。審査講評では、充分なリサーチ、発想のユニークさ、企画の具体性、文章量 (図表を含む) の揃った作品への評価が高かったことが指摘された。また、自らもスポーツを楽しんでいる者が自らの経験等から立案した作品が多かった一方、「見るスポーツ」の観点からの立案が少なかった点が課題として挙げられた。次に、受賞者の応募作品については、いずれの作品も発想が豊かで実現可能性が高いと評価され、他地域の事例を参考に、周南市内でモデル地区を決めて取り組んでもよいのではないかという意見も出された。最後に、周南市におけるスポーツ振興方針については、山口国体・山口大会を通じてスポ

ーツへの関心が高まっている現在こそ積極的な取組みを推進すべきであるという認識の下、行政だけでなくスポーツ愛好者をはじめとする市民も一体となって取り組むこと、みんながスポーツを楽しむ環境づくりと併せてトップ選手の競技力向上を図ること、スポーツへの関心をまちへの愛着、まちづくりの活動に発展させる仕掛けを工夫することなどが提案された。

⑦ 実施状況



表彰状および副賞の授与



受賞者の集合写真



パネルディスカッション

5 参考資料

1) 制作物

① プラン募集チラシ

周南まちなみコンテスト 2011 山口県では2011年、国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が開催されます。徳山大学は2011年、スポーツマネジメント教育研究センター（仮称）を設置します。

スポーツを楽しむ環境をつくるプラン
を募集しています！



応募バ切
平成23年
8月31日
(必着)

【募集テーマ】
スポーツを楽しむ環境をつくるプラン

【募集部門】
① 高校生部門（高専生1～3年を含む）
② 大学・高専部門（高専専攻科を含む）
③ 一般部門
※個人でもグループでも応募できます。

【選考・表彰】
各部門において、最優秀賞（賞金3万円）と優秀賞（賞金1万5千円）を選考し、表彰いたします（表彰式は11月5日（土）に実施予定）。

【審査員】
原田裕花（アトランタ五輪バスケボール代表選手、身長186センチメートル）
1968年山口県生まれ。小学校3年でミニバスケボールを始め、山口県周南市東部中学校・大分県立高等学校を経て、07年（第17回）ジャパンエナジー入社。全日本チーム入り。主将も務める。アトランタオリンピックでは1軍の要員となる。現在はバスケボール教室で指導にあたりながら、スポーツ解説者としても活躍中。

松田敬子（周南市健康増進課長）
弘中基之（周南市文化スポーツ課長）
熊野 稔（徳山高専専攻科（都市計画））
目山直樹（徳山高専専攻科（まちづくり））
渡 正（徳山大学経済学部准教授（スポーツ社会学））
和田 崇（徳山大学准教授（地域政策論））

主催：徳山大学
共催：徳山工業高等専門学校、周南市
後援：山口県教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西日本社、中国新聞徳山本社、山口新聞社、新周南新聞社

問合せ・応募先
徳山大学地域連携センター
〒745-8566 山口県周南市学園台
電話 0834(28)0411（代表）
電子メール chiki@tokuyama-u.ac.jp
<http://www.tokuyama-u.ac.jp/>

「周南まちなみコンテスト 2011」募集要項

【募集テーマ】
○「スポーツを楽しむ環境をつくるプラン」を募集します。例えば、以下のような内容のプランが想定されます。
・スポーツが地域に定着するための仕掛け
・総合型地域スポーツクラブ等の育成・支援
・魅力あるスポーツイベントの開催
・スポーツを支える活動の推進（スポーツボランティアなど）

【選考方法】
○一次審査
（方法）書類審査
（審査員）周南市、徳山高専、徳山大学の各担当部・教員
（選考数）部門（高校、大学・高専、一般）別に各10作品
（期間）平成23年9月6日（火）～16日（金）
○最終審査
（方法）書類審査
（審査員）原田裕花（アトランタ五輪バスケボール代表選手、身長186センチメートル）
松田敬子（周南市健康増進課長）
弘中基之（周南市文化スポーツ課長）
熊野 稔（徳山高専専攻科（都市計画））
目山直樹（徳山高専専攻科（まちづくり））
渡 正（徳山大学准教授（スポーツ社会学））
和田 崇（徳山大学准教授（地域政策論））
（選考数）部門別に最優秀賞1、優秀賞1
（期間）平成23年9月26日（月）～平成23年10月7日（金）
○選考結果のお知らせ
最終審査終了後に応募者全員にお知らせいたします。

【表彰】
○高校生部門 最優秀賞1名、優秀賞1名
大学・高専部門 最優秀賞1名、優秀賞1名
一般部門 最優秀賞1名、優秀賞1名
○表彰式
（期日）平成23年11月5日（土）午後
（会場）徳山大学
（内容）表彰式および副賞授与
審査講評＆パネルディスカッション
○副賞
・最優秀賞 30,000円/件
・優秀賞 15,000円/件
※表彰式に出席いただくための旅費（グループの場合は代表者1名分）は主催者が負担します。

【アイデアから施策へ】
○入賞作品は、主催者が広報や施策検討のための資料として利用する権利を有します。
○入賞作品は、周南市のスポーツ振興施策として採用される可能性があります。

【募集要項】
徳山大学地域連携センター 担当：河本、和田
〒745-8566 山口県周南市学園台
電話 0834(28)0411（代表）
電子メール chiki@tokuyama-u.ac.jp
※問合せはできるだけ電子メールをご利用ください。

② 表彰式案内チラシ

周南まちなみコンテスト 2011 表彰式&フォーラム

スポーツを楽しむ環境づくりを考える！

山口県では2011年、国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が開催されています。これを機会に、周南地域でも誰もがスポーツを楽しむようになると期待されます。その一助とすべく、スポーツを楽しむ環境をつくるプランを募集したところ、全国の高校生・大学・高専生などから199のプランが提案されました。このたび、その中で発案がユニークで、また実現可能性と期待効果が高いプランを表彰するとともに、これからのスポーツ環境づくりを考えるフォーラムを企画いたしました。多くの皆様にご参加いただき、地域スポーツ充実の一助にしていきたいと思います。

周南市出身のアトランタ五輪バスケボール代表選手・原田裕花さんにもご参加いただけます！

1968年山口県生まれ。小学校3年でミニバスケボールを始め、山口県周南市東部中学校・大分県立高等学校を経て、07年（第17回）ジャパンエナジー入社。全日本チーム入り。主将も務める。アトランタオリンピックでは1軍の要員となる。現在はバスケボール教室で指導にあたりながら、スポーツ解説者としても活躍中。

日 時：平成23年11月5日（土） 13:30～15:30
会 場：徳山大学 6号館 611教室
内 容：表彰式、受賞作品の紹介
審査講評（パネルディスカッション）
原田 裕花（アトランタ五輪バスケボール代表選手、身長186センチメートル）
熊野 稔（徳山工業高等専門学校教授（都市計画））
目山 直樹（徳山工業高等専門学校教授（まちづくり））
渡 正（徳山大学経済学部准教授（スポーツ社会学））
和田 崇（徳山大学経済学部准教授（地域政策論））

周南市のスポーツ振興施策について
松田 敬子（周南市健康増進課長）
弘中 基之（周南市文化スポーツ課長）

参加無料

参加申込：10月28日（金）までに、参加される方のご氏名、ご所属先、連絡先の電話番号およびメールアドレスを徳山大学地域連携センターまでご連絡ください。当日受付による参加も可能です。
徳山大学地域連携センター 担当：中川・和田
〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2
電話 0834-28-0415（内線730） 電子メール chiki@tokuyama-u.ac.jp

備 考：同日は徳山大学大講「ボラ寮」および徳山大学創立40周年記念事業も同時開催いたします。詳しくは徳山大学ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.tokuyama-u.ac.jp/>

主催：徳山大学
共催：徳山工業高等専門学校、周南市
後援：山口県教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西日本社、中国新聞徳山本社、山口新聞社、新周南新聞社



2) 報道記録

- ① 読売新聞（平成 23 年 5 月 17 日）
- ② 山口新聞（平成 23 年 5 月 24 日）
- ③ 朝日新聞（平成 23 年 5 月 27 日）
- ④ 中国新聞（平成 23 年 5 月 28 日）
- ⑤ 朝日新聞（平成 23 年 11 月 1 日）
- ⑥ 日刊新周南（平成 23 年 11 月 1 日）
- ⑦ 朝日新聞（平成 23 年 11 月 3 日）
- ⑧ 読売新聞（平成 23 年 11 月 6 日）
- ⑨ 中国新聞（平成 23 年 11 月 6 日）
- ⑩ 山口新聞（平成 23 年 11 月 6 日）
- ⑪ 日刊新周南（平成 23 年 11 月 7 日）